

# 第7回柏原ビエンナーレ パフォーマンス部門特別企画コンサート

## 柏原の音 音をたどる軌跡

### 広報資料

#### 内容

第7回柏原ビエンナーレ パフォーマンス部門特別企画コンサート	1
柏原の音 音をたどる軌跡 広報資料	1
柏原の音 音をたどる軌跡	2
概要	2
本演奏会について	2
目的	2
構成	2
前半公演	4
演目	4
作曲者プロフィール	4
演奏者プロフィール	5
後半公演 現代音楽グループ「響き前線」第0回公演	6
演目	6
響き前線とは	6
作曲者プロフィール	6
演奏者プロフィール	7

## 柏原の音 音をたどる軌跡

### 概要

「柏原の音 音で辿る軌跡」と題した本演奏会は、第7回柏原ビエンナーレ特別企画コンサートとして、柏原という地域をテーマに、聴衆と音楽家が共通の認識を持って音楽を作り上げ、地域のもつ豊かな歴史と文化を見直すきっかけになることを願っています。それぞれの作曲家が描いた柏原のサウンドスケープをお聴きください。

開催日程：2016年10月15日(土) 前半公演 14:00 開演 後半公演 18:00 開演

場 所：柏原市民文化会館リビエールホール 小ホール

入場料：無料

その他の未就学児の入場はお断りさせていただいております

### 本演奏会について

#### 目的

本演奏会は第7回柏原ビエンナーレ特別企画コンサートとして、柏原という地域をテーマに、聴衆と音楽家が共通の認識を持って音楽を作り上げることを目的としている。

現在の日本において、現代音楽の公演は極めて少なく、音楽を愛好する人でさえ現代音楽に触れる機会がほとんど無い。加えて、とくに日本では、多くの人が現代音楽を「難解で聞き難いもの」と捉えている。そのため、音楽家でさえも、現代音楽の演奏を躊躇する現状がある。こうした悪循環が、現代音楽に携わる若手音楽家の発表の機会を設けることを難しくしている。

こうした現状から、難解と考えられがちな現代音楽を、「柏原」という地域を共通認識として持つことで、聴衆と音楽家が交流しながら音楽を楽しみ、理解しあう機会として本演奏会を企画する。

本演奏会が開催される柏原ビエンナーレでは、2004年から現代美術を中心とした展示活動を実施している。また、展示だけでなく、国内外で積極的に活動している芸術家を招聘し、若手の作家や地域の人々と交流する機会を設けている。こうした取り組みの蓄積により、柏原では現代芸術を受容する土壤が出来上がっており、音楽を愛好する人々だけでなく、より多くの人々に現代音楽を楽しんでもらう機会となりうる。

#### 構成

本演奏会は二部構成で、それぞれが柏原をテーマに全曲新曲で構成している。

第1部では、2013年に武満徹作曲賞第二位を獲得し、国内外を通じて精力的に活動を行っている小林純生氏、国連憲章50周年記念国際舞踊フェスティバルの日本代表曲に選ばれるなど国際的に高い評価を得ている中村典子氏、京都市立芸術大学大学院作曲専攻へ在籍し在学中より明治安田クオリティオブライフ奨学生に選出されるなど今後の活躍が期待される作曲家の稻谷祐亮氏の3氏に作品を委嘱する。

2016年4月2日に現地見学会を実施し、作曲家は自ら柏原に足を運び、そこで感じたことや地域の人々との交流を通じて、新しい曲を生み出す。柏原は歴史的に、古代から政治、文化、交通の要衝として栄え、市内各所に歴史遺跡や文化財が点在している。第1部では、こうした柏原の神話や伝承、その土地を流れる悠久の時間をテーマに作曲されている。曲のテーマをより深めるために、演奏者も柏原出身もしくは在住の方を中心に構成している。

また、幕間にトークショーとして、作曲家自身の思いや曲の意図について聴衆と語らう場を設け、「柏原という地域」を共通認識として、音楽を楽しむとともに、改めて地域について考える機会

したい。

編成はホールの規模から室内楽としており、ピアノ、ヴァイオリン、チェロを使用する。

第2部では、関西の作曲家を中心に結成された現代音楽グループ「響き前線」の4名の若手作曲家による新作初演に焦点を当てている。

2014年度第83回日本音楽コンクールで第一位を獲得した杉本友樹氏、2015年度第32回現音作曲新人賞の川合清裕氏、2016年にAsian Composers League-Koreaに参加し第4回ドヴォルジャーク国際作曲コンクール入賞等国内外で活躍に作品発表を行う増田建太氏、第10回弘前桜の園作曲コンクール第一位（下山一二三賞）の尾崎一成氏という、現代音楽の領域で活躍する期待の新鋭ばかりである。

フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット、打楽器（各一名）の、各々の楽器の新たな可能性、組合せを熟考し、「新たな響き」を模索した意欲的な新作である。楽曲創作の際のテーマは「柏原のサウンドスケープ」であり、第1部と同様、観客と「地域性」を共有する。そして現代音楽をより身近に感じて貰えるよう、各楽曲問には、作曲家同士によるインタビューや楽曲の解説をする場を設ける。

第2部ともに、20代から30代の若手音楽家が中心となっている。また、本演奏会は京都市立芸術大学、大阪教育大学が運営に主体的に携わっており、持続的な音楽教育活動の場としても機能している。現代音楽に携わる若手音楽家の発表の機会は多くないことから、本演奏会は一回限りのものではなく、「柏原という地域」をテーマに据えた現代音楽の発表の場として、継続的に開催するものとしていく。

## 前半公演

### 演目

作曲者：岡本 伸介（おかもと しんすけ）

題名：かづらわたし -3つのアラベスク-

編成：ピアノ独奏

作曲者：稻谷 祐亮（いなたに ゆうすけ）

題名：チェロ独奏のための《瑞花蝶鳥・聞響》

編成：チェロ独奏

作曲者：小林 純生（こばやし すみお）

題名：幻想曲Ⅰ・Ⅱ

編成：ヴァイオリン独奏

作曲者：中村 典子（なかむら のりこ）

題名：蓬莱 ichibiko

編成：ピアノ、ヴァイオリン、チェロ

### 作曲者プロフィール

#### 岡本 伸介



岡山県出身。京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻、京都市立芸術大学大学院修士課程音楽学専攻卒業。大学院卒業時に大学院市長賞受賞。

これまでに作曲を中村典子、前田守一、葛西聖憲、伊藤弘之、藤井園子、青木省三の各氏に師事。

#### 稻谷 祐亮



奈良県出身。作曲を土井智恵子、中川統雄、岡田加津子、葛西聖憲、中村典子、前田守一の各氏に師事。京都市立芸術大学音楽学部音楽学科作曲専攻を首席で卒業。在学中に、明治安田クオリティオブライフ奨学生に推薦される。現在は京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程作曲専攻に在籍している。

小林 純生



三重県出身。作曲を伊藤弘之と湯浅謙二に師事。日本音楽コンクール(2009年)、国際尹伊桑作曲賞(2011年)、武満徹作曲賞(2013年)など多数のコンクールで入賞または入選。また、世界各国の音楽祭、コンサートで作品が紹介されている。現在はイギリス、ケント大学博士課程で言語学の研究を進めている。

中村 典子



滋賀県出身。京都市立芸術大学大学院主席修了。ACL Conference&Festival(2009年韓国、2011年台湾、2012年イスラエル)入選。京都市芸術新人賞(2001年)、滋賀県文化奨励賞(2010年)受賞サンフランシスコ歌劇場、Felicia Blumenthal Music Centerなど世界15カ国で作品上演。現在は京都市立芸術大学の准教授として後進の育成にあたっている。

#### 演奏者プロフィール

鷺 真佑子 (がん まゆこ) (ピアノ)

京都市立芸術大学、同大学院を修了。パリ・エコールノルマル音楽院にて高等ディプロムを取得。全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部第1位、メリニヤック学生コンクール(フランス)審査員満場一致で第1位等、国内外で受賞。

孫工 恵嗣 (まごく けいし) (チェロ)

奈良県出身。10歳よりチェロを始める。ウェルナー・トーマス・ミフネ主催のワークショップ、軽井沢国際音楽祭、JSQが講師を務める Phoenix OSAQA、京都プライトンホテルリレー音楽祭等に参加。チェロを岩谷雄太郎、安野英之、雨田一孝、上村昇の各氏に師事。京都市立芸術大学音楽学部卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。現在、関西を中心にオーケストラや室内楽等で活動中。

江口 純子 (えぐち じゅんこ) (ヴァイオリン)

京都市立堀川音楽高校、京都市立芸術大学音楽学部、同大学院首席卒業。卒業時に大学院市長賞受賞。2009年全学費免除のもとアメリカ北フロリダ大学演奏科に留学。2012年第16回京都の秋音楽祭にて豊鳩泰嗣、林七奈、篠崎友美、上村昇の各氏と共に演奏以来、著名アーティストとの共演を重ねている。現在、自身のリサイタルや室内楽、オーケストラ客演でヴァイオリン、ヴィオラで活動中。

#### 後半公演（現代音楽グループ「響き前線」第0回公演）

##### 演目

作曲者：杉本友樹（すぎもと ゆうき）  
題名：フルート独奏のための「オーケカブラ」  
編成：フルート

作曲者：尾崎一成（おざき かずなり）  
題名：うつ音の空  
編成：オーボエ、クラリネット、バスーン

作曲者：川合清裕（かわい きよひろ）  
題名：虚洞の声  
編成：クラリネット、ホルン、パーカッション

作曲者：増田建太（ますだ けんた）  
題名：minE…  
編成：フルート、オーボエ、ホルン、ファゴット、パーカッション

##### 響き前線とは

近畿地方在住の若手作曲家たちによって結成された現代音楽グループ。2016年より本格始動し、関西での若手世代の現代音楽の発信に努める。まだお互いの面識がない頃、メンバーそれぞれが国内外で実力を発揮していく中で、遠方で偶然知り合ったことがきっかけで企画に至る。近畿の現代音楽におけるゼロ年代プロジェクトとして機能すべく活動進行中である。

#### 作曲者プロフィール 増田建太



大阪教育大学大学院修了。第20回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門畠中良輔賞、第4回ドヴォルジャーク国際作曲コンクール第3位、第32回現音作曲新人賞入選。世界各地の音楽祭にて作品上演。ACL Conference&Festival (2016年韓国)にて、自作品の初演とレクチャーを行なう。作曲を物部一郎、北川文雄、猿谷紀郎の各氏に師事。

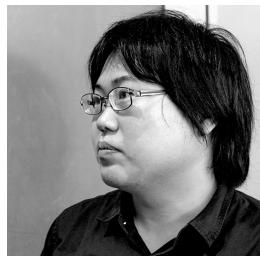
#### 川合清裕



大阪音楽大学作曲専攻を卒業。卒業時に褒賞として優秀賞を授与される。これまでに作曲を高昌帥、永田孝信の各氏に、ピアノを土井緑氏にそれぞれ師事。第32回現音作曲新人賞受賞、第9回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール第1位。第8回JFC作曲賞コンクール、第3回洗足現代音楽作曲コンクールB部門、各

入選。関西現代音楽交流協会会員。

#### 尾崎一成



大阪府堺市生まれ、同市在住。作曲は主に独学。第 10 回記念弘前桜の園作曲コンクール一般の部第 1 位をはじめ、多数の賞を受賞。自作品の楽譜をブレーン株式会社ほかより出版。同志社大学大学院文学研究科修士課程修了。現在、京都市立芸術大学大学院博士後期課程にて音楽学を専攻。

#### 杉本友樹



大阪音楽大学大学院作曲専攻修了。2010 年全日本電子楽器研究会主催第 4 回電子オルガンの為の作品公募入選。2013 年第 82 回日本音楽コンクール作曲部門(室内楽)入選。2014 年第 83 回日本音楽コンクール作曲部門(オーケストラ)第 1 位、あわせて明治安田賞、三善賞を受賞。現在、大阪音楽大学非常勤講師。

#### 演奏者プロフィール

##### 酒田結 (さかた ゆい) (フルート)

第 17 回日本フルートコンヴェンションコンクール・アンサンブル・アワード部門において第 1 位を受賞(デュオ)。ヴァンサン・リュカ、サンドリーヌ・フランソワ、ジャン・フェランディス各氏のマスタークラス、トーマ・プレヴォ、ハンス・ウド・ハインツマン各氏のレッスンを受講。フルートを野坂知子、中務晴之の各氏に師事。現在、大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース 4 回生。

##### 西林彩菜 (にしばやし あやな) (オーボエ)

中学の吹奏楽部にてオーボエを始める。第 27 回レ・スプレンデル音楽コンクール第 5 位(第 1 位~4 位該当者なし)、第 17 回高槻音楽コンクール優秀賞、第 13 回大阪国際コンクール管楽器部門木管 Age-H 第 3 位、第 18 回 KOBE 国際音楽コンクール奨励賞、第 21、23 回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。これまでにオーボエを藤吉沙知、清水明、高山郁子、中根庸介の各氏に師事。

##### 夫馬もも香 (ふま ももか) (クラリネット)

4 歳よりピアノ、13 歳よりクラリネットをはじめる。ギイ・ダンガン、ディルク・アルトマン各

氏のレッスンを受講。今までに和田尚裕、ブルックス・信雄・トーンの各氏に師事。現在、大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース 4 回生。

##### 嶋崎海 (しまさき かい) (ホルン)

京都府京都市出身。中学校の吹奏楽部よりホルンを始める。現在大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース 4 回生在学中。これまでにホルンを澤嶋 秀昌、垣本 昌芳の各氏に師事。

##### 永易伶菜 (ながやす れいな) (ファゴット)

大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コースファゴット専攻在籍。全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト第 15 回愛媛県大会第 2 位、四国大会第 1 位、全国大会優秀賞。第 30 回香川ジュニア音楽コンクール銅賞。第 24 回日本クラシック音楽コンクール全国大会 5 位。これまでにファゴットを、中野陽一朗氏に師事。

##### 山上峻也 (やまがみ しゅんや) (バーカッション)

横浜出身、大阪育ち。作曲・編曲活動を交えながら、打楽器アンサンブルや金管アンサンブル、音楽朗読劇等でも演奏活動を展開。自身の所属するインストバンド「UNITEDS」にも多く楽曲を提供しており、精力的に活動している。現在は、大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース打楽器専攻に在学中。今までに、堀内吉昌、小谷康夫、奥田有紀、各氏に師事。